

科目名	<h1 style="text-align: center;">英 語 科</h1> <p>科目：オーラル コミュニケーションⅡ</p>	使用教材	教科書 Birdland Oral Communication II 副教材 センター対策リスニング教材(スーパー進学コース) 補助プリント
単位数	スーパー進学コース 3年 4単位	評価方法	a. 授業に対する意欲 b. 発表(プレゼンテーション、ディスカッション) c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査(リスニング)

学習到達目標

- 幅広い話題（自分自身、家族、友人や学校、社会のできごとなど）について、情報や考えなどを整理して、英語で発表したり、話し合ったりする能力を身につける。
- 場面や目的に応じて、主体的に英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりして自発的・積極的にコミュニケーション活動に取り組む態度を育てる。

★授業について

授業では教科書だけでなく、様々な話題・論点をもつ補助教材を用いて英語の表現に迫ります。聴くだけの授業ではありませんので、書く・話すことに重点を置きながら。

★自主学习について

- ◎予習 特に予習は必要ありませんが、日常でどれだけ英語を一に触れているかが重要になります。ニュースなどを副音声で画面情報を利用しながら聞き取れる情報を多くしていきましょう。
- ◎復習 授業で学んだ単語や文法事項はもちろん、場面に応じた英語表現を定着させましょう

評価のについて

	①関心・意欲・態度	②表現の能力	③理解の能力	④知識・理解
観 点	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的话题について、情報や考えなどを伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。	日常的话题について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	日常的话题についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。
規 準	(ア) 言語活動への積極的な取り組み (イ) コミュニケーションを継続する努力。	(ア) 正確さ(リズム・イントネーション・文法、情報の内容) (イ) 適切さ(場面や状況に応じた表現。声の大きさ、速さ)	(ア) 正確さ(リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解) (イ) 適切さ(場面や状況、目的に応じた聞き取り、読み取り)	(ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解(円滑なコミュニケーションに必要なとされる文化についての理解)

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 ＊心の成長

月 週		単元	目標	学習の要点
4	1	Lesson 1	[学校紹介]オーストラリアの高校から来たビデオレターを見て内容を理解し、自分たちも独自の学校紹介ビデオを作る。	◆プレゼンテーション、ビデオレター ＊気持ちを伝える：ほめる、嘆く ●情報を伝える：説明する、報告する、描写する、理由を述べる
	2	Let's Make a School Video!		
5	3	Lesson 2	[旅行]海外旅行の案内を聞いて理解する。また、自分たちも旅行代理店になったつもりでツアーを企画し、紹介する。	◆プレゼンテーション、旅行の広告 ●情報を伝える：説明する、報告する、描写する、理由を述べる ●相手の行動を促す：質問する、許可する
	4	Let's Travel Abroad!		
6	5	Lesson 3	[食事]健康という面から、自分たちの食事を見直す。	◆ディスカッション ●情報を伝える：報告する、理由を述べる ●考えや意図を伝える：主張する、賛成する、反対する ●相手の行動を促す：質問する、許可する、助言する、示唆する、禁止する
	6	Eat to Live, or Live to Eat?		
6	7	Lesson 4	[マナー]公共の場で目にする悪いマナーや迷惑行為について、海外の事情を学びつつ、今度どのようにすれば改善できるかを話し合う。	◆ディスカッション ＊人との関係を円滑にする：紹介する、呼び掛ける、相づちを打つ ＊気持ちを伝える：感謝する、苦情を言う、謝る ●考えや意図を伝える：主張する、賛成する、反対する ●相手の行動を促す：質問する、許可する、助言する、示唆する、禁止する
	8	Acceptable, or Unacceptable?		
7	9	Lesson 5	[AI/ロボット]新しいバーチャルペットを企画したり、バーチャルペットの是非について話し合う。	◆プレゼンテーション、雑誌、ロール・プレイ ＊気持ちを伝える：驚く ●考えや意図を伝える：主張する、賛成する、反対する、説得する、仮定する ●相手の行動を促す：助言する
	10	Real vs. Virtual		
7	11	Lesson 6	[メディア]活字の本とデジタルの本はどちらが優れているかなど、新旧さまざまなメディアを比較する。	◆情報通信ネットワーク、ラジオ、新聞、ディベート、インタビュー ＊人との関係を円滑にする：呼びかける、相づちを打つ ●情報を伝える：説明する、描写する、理由を述べる ●考えや意図を伝える：主張する、賛成する、反対する、説得する、仮定する、結論付ける ●相手の行動を促す：質問する
	12	Print vs. the Web		
9	13	Lesson 7	[スポーツ]各自、好きなスポーツの世界について紹介する。	◆スピーチ、雑誌 ＊気持ちを伝える：ほめる ●情報を伝える：説明する、描写する、理由を述べる ●相手の行動を促す：質問する、助言する
	14	What's Your Favorite Sport?		
10	15	Lesson 8	[ボランティア]ボランティア活動の経験や、意義について話し合う。	◆スピーチ、統計 ＊人との関係を円滑にする：呼び掛ける ＊気持ちを伝える：驚く、非難する ●情報を伝える：説明する、報告する、描写する、理由を述べる ●相手の行動を促す：誘う、助言する、示唆する
	16	Volunteer, Anyone?		
10	17	Lesson 9	[タイム・カプセル]今の社会から将来の人々に何を残したら有意義かを考え、各自タイム・カプセルの企画を作成し、発表する。	◆プレゼンテーション、インタビュー ●考えや意図を伝える：申し出る、主張する、賛成する、反対する、推論する、仮定する、結論付ける ●相手の行動を促す：質問する
	18	Let's Make a Time Capsule!		
11	19	Lesson 10	[友情] インターネット上の交際など現代的な問題をからめながら「友だち」とはどのような存在なのかを話し合う。	◆ディスカッション、パーティー、新聞 ●考えや意図を伝える：申し出る、主張する、賛成する、反対する、推論する、仮定する、結論付ける ●相手の行動を促す：質問する
	20	A Friend, or an Acquaintance?		
11	21	Lesson 11	[少子化] 日本の少子化問題やその原因、男女の役割などについて話し合う。	●ディベート ＊人との関係を円滑にする：相づちを打つ ●情報を伝える：説明する、描写する、報告する、理由を述べる ●考えや意図を伝える：主張する、賛成する、反対する、説得する ●相手の行動を促す：質問する
	22	Single/Small Family vs. Marriage/Large Family		
12	23	Lesson 12	[進路]将来したいことや、夢を実現するためにどのような手続きを踏もうと考えているか、発表する。	◆スピーチ ＊気持ちを伝える：驚く、満足する、嘆く ●情報を伝える：説明する、描写する、理由を述べる ●相手の行動を促す：助言する
	24	What's Your Dream?		
12	25	入試実践演習	・就職試験 ・各種専門学校入試 ・大学入試センター試験 ・私立大学入試 ・国公立二次試験	◆リスニングを中心に既修事項を確認しながら入試問題に取り組む
1	26			
	27			
1	28			
	29			
	30			

科目名	英語科 科目：英語Ⅱ	使用教材	教科書 LovEng. English Course Ⅱ (英Ⅱ052) 副教材 現代を見る(スーパー進学コース) 現代を読む(スーパー進学コース) 現代を探る(スーパー進学コース) 補助プリント
単位数	スーパー進学コース 3年 2単位	評価方法	a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査

学習到達目標

日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

具体的な言語活動は以下の通り。

- ア. 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- イ. 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ウ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。
- エ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。

★授業について

授業では教科書だけでなく、様々な話題・論点をもつ補助教材を用いて英語の表現・論法に迫ります。読んで訳すだけの授業ではありませんので、単語や文法事項だけにとらわれないようにしましょう。

★自主学習について

- ◎予習 各教材のわからない単語を辞書で品詞や文型を考えながら調べ、訳せる文と訳せない文を明確にして授業に臨みましょう。
- ◎復習 授業で学んだ単語や文法事項はもちろん、異文化間のコミュニケーションに役立つ英語の表現・論法を定着させましょう

評価のについて

	①関心・意欲・態度	②表現の能力	③理解の能力	④知識・理解
観点	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。
規準	(ア) 言語活動への積極的な取り組み (イ) コミュニケーションを継続する努力	(ア) 正確さ(リズム・イントネーション・文法。情報の内容) (イ) 適切さ(場面や状況に応じた表現。声の大きさ、速さ)	(ア) 正確さ(リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解) (イ) 適切さ(場面や状況、目的に応じた聞き取り、読み取り)	(ア) 言語についての知識(リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現) (イ) 文化についての理解(円滑なコミュニケーションに必要とされる文化についての理解)

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

スー パー	月	週	単元	目標	学習の要点
4	1 2		あ・ら・かると6 ジェスチャーいろいろ	・各国で用いられるジェスチャーを知り、日本のものとの違いを理解する。	*異文化間での非言語コミュニケーションツールを知る
			5	Lesson 8 Child Labor	・世界の児童労働の現状について知る。 ・子どもが働かなければならない理由と、児童労働の問題点について理解する。 ・多くの国や団体がとっている対策について知り、自分たちで何ができるかについて考える。
6	6 7		あ・ら・かると7 児童労働についてもっと知ろう	・Child LaborとChild Workの違い、世界の児童労働者数について知る。	*世界の現状について英語で学ぶ。
			7	Lesson 9 Anime and Manga	・アニメの人気の秘密を、アメリカのアニメーションとの比較によって知る。 ・マンガと西洋のコミックとの違いについて知る。 ・「まんが甲子園」という大会があること、大学にもマンガ科が設置されていることから、日本のアニメ・マンガが一つの「文化」として認められつつあることを知る。
9	11 12		あ・ら・かると8 マンガのオチを考えよう	・与えられたマンガのコンテクストに合うオチを考える。	◆近年、入試頻出のビジュアル問題になれる
			10	Lesson 10 Is There a Santa Claus?	・「サンタクロースって本当にいるんですか？」と尋ねた少女に対する、ある新聞記者の返事の内容を読み、人間の存在、愛や美しさ、詩情、ロマンス、純真さなどについて、考えを深める。
11	17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28		入試実践演習	・大学入試センター試験 ・私立大学入試 ・国公立二次試験	●既修事項を確認しながら入試問題に取り組む

科目名	<p style="text-align: center;">外国語</p> <p>科目：英語 Reading</p>	使用教材	<p>教科書</p> <p style="text-align: center;">WORLD TREK English Reading (桐原書店)</p> <p>※ 英和辞典</p> <p>※ ノート</p>
単位数	スーパー進学コース 3年次 [2単位]	評価方法	<p>1. 定期考査</p> <p style="padding-left: 20px;">①前後期考査 ②中間評価考査 ③各単元確認テスト</p> <p>2. 授業態度や取り組みの姿勢</p> <p>3. 提出物（ノート・確認プリント・課題レポート等）</p>
<p>学習到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語を読んで、情報や書き手の意向(言語や文化に関する内容)などを理解する能力を身につける。 2. 1の能力を活用して積極的で主体的な読む活動を進める。 3. 読む活動を深め、他のコミュニケーション活動に利用する態度を育てる。 			
<p>★授業について</p> <p>基本的には教科書の英文を中心とした「読む」活動を展開していきますが、実際の言葉を使用すれば、「内容を読み取る」能力を身につけて欲しいため、当然、英単語力・熟語力・文法内容の理解も必要不可欠なものとなります。いわばReadingは英語の最終評価となる科目とも言えます。したがって、難易度のことも考慮した上で、教科書外の教材、たとえば、新聞、オリジナル英文等を使用した授業展開も行います。</p> <p>また、英語(英文)読解から人間として生き方や社会問題、人権問題、異文化を通しての日本人の歴史的な習慣や風土的な内容を探ったりする時間としても大切な役割を果たすこととなります。</p> <p>★自主学習について</p> <p>◎予習</p> <p>まずは英語辞書を使って次時間で習う範囲の英単語調べは必須となります。また、それぞれのLessonには、英文理解のための文法的事項もでてきますので、参考書や辞書を使って事前準備(前時間に指示します。)も必要になってきます。</p> <p>◎復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時間に習った部分(英文)を内容を理解しながら3回通りは発音しながら英文を読む。 ・大切な英単語・熟語については覚えようと意識する。(小テストもあります。) ・文法事項については復習用の宿題プリントも出ますので、参考書等を利用して応用がきくように理解しましょう。 			
<p>学習評価方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期考査(前期・後期)、中間評価考査、各単元ごとの確認テスト(英単語・熟語・文法事項) 2. 授業への意欲や授業中の態度 <p>英語が解らなくても、解ろうとする気持ちやあきらめによる意欲の低下については、生活のすべてに繋がるものです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 課題や提出物等 <p>日頃のノートの整理意識の問題やまとめ方、また提出期限厳守に関するモチベーションは大事です。</p>			

月	週・時	単 元	目 標	学習の要点
4	1～ 2週	Lesson 9 Return to Herbal Healing	・健康・医療における説明文を読み、ハーブ療法を通じて健康管理の重要性について理解する。	●主題文、指示文、結論文 ◆書き手の主張や意図の推測 ＊健康管理の重要性を考える。
5	3～ 6週	Lesson 10 Nouveau Japanese Cuisine In New York	・食文化における論説文を読み、日本料理が海外で高評価を得てきた過程を考察する。	●パラグラフの構成型と展開型 ◆主題の捕らえ方 ＊食文化の歴史的理解
6				
7	7～ 10週	Lesson 11 The Study of Our Brain	・脳科学に関する説明文を読み、記憶と感情に焦点を絞り、最先端の脳科学研究を知る。	●説明文の概要把握 ◆具体例追加による可能文 ＊科学と人間との調和を考察 してみる。
8	11～	Lesson 12		
9	14週	Alfred Nobel	・伝記による説明文を読みノベル賞とその創設者について知り、平和について理解する。	●時間軸の把握、予定を伝える ◆情報を付加する文 ＊真の平和とは何かを考える。
10	15～ 19週	Lesson 13 Oxygen	・化学による説明文を読み英語で書かれた理科の教材に親しみ、酸素の働きを理解し再認識する。	●因果関係を軸とした内容把握 ◆過去の推量文 ＊自然科学の基本を考える。
11		Lesson 14		
12	20～ 25週	The Open Window	・ミステリーなる物語文を読み転地療養中の男と対応する少女と叔母との対話が織り成す謎を解決する。	●物語文の展開の整理 ◆理由、期待を示す文 ◆読解の本質について考える。
1				
2	26～ 29週	※センター試験対策や 大学入試実践問題にも 触れていきます。		
3	30～ 35週			

科目名	外国語 科 科目：Writing	使用教材	教科書 POWWOW English Writing 副教材 Next Stage(桐原書店) 現代を探る(桐原書店) センター対策問題集
単位数	3年次：2単位必修 スーパー進学コース（通年）	評価方法	定期考査・小テスト 授業への取り組みの様子 提出物（課題・プリント・ノートなど）

学習到達目標

- ◆情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- ◆聞いたり読んだりした内容について、場面や目的に応じて概要や要点を書くことができる。
- ◆聞いたり読んだりした内容について、自分の考えなどを整理して書くことができる。
- ◆自分が伝えようとする内容を整理して、場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書くことができる。
- ◆大学入試に必要な作文力、表現力を身につける。

★授業について

授業では、日常生活の様々な場면을題材を取り上げ、情報や考えなどを場面や目的に応じて英語で表現できる実践的コミュニケーション能力を伸ばすため、作文や発言の機会を設けます。積極的に参加しましょう。また、副教材を用いて大学入試に必要な実践力を身につけます。

★自主学習について

◆確かな学力を身に付けるためのアドバイス

「暗記」は古い学習法だと思いませんか。いいえ、暗記は「ライティング」の学習にとって、確かな学力を身に付けるために絶対に必要です。文法や構文を理解し、語彙を増やし、多くの例文を頭に入れておくことが大切です。暗記をする際には暗唱(声に出して)すると一層記憶に残りやすいです。

良い英文を書くことができるようになるためには、大量の良い英文を読むことです。読んでいるときに気に入った表現が出てきたら、それをノートなどに書きためておくとよいでしょう。いつか使う機会があるはずです。

日本語と英語の文章の展開法は違うところがあります。パラグラフ・ライティングの概念を理解し、同じテーマを何回か書き直しをして、よりよい文章を書けるように努力してください。英語の先生に英文のチェックをお願いすると一層上達します。

◆予習

次の時間に学習する範囲の教科書・問題集のページを読んでおきましょう。分からない語句は辞書で調べておきましょう。

◆復習

実践的コミュニケーションに必要な英語力の習得には反復が不可欠です。習ったことはその日のうちに何度も練習し、覚えましょう。

評価について

- ◆評価対象：①定期考査の成績
②授業時における姿勢・態度
③ノート・ワーク・宿題の提出の有無・記入内容の結果
- ◆評価の観点：①コミュニケーションに関心をもち、英語を書く活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。その際に、より豊かな内容やより適切な形式で書けるように、書く過程も重視しているか。(関心・意欲・態度)
②聞いたり読んだりした内容について、自分の考えを整理して書くことができるか。また自分が伝えようとする内容を整理して、相手に理解されるように書くことができるか。(表現・技能)
③英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解することができるか。また文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように音読できるか。(理解)
④情報や考えを伝える適切な英文を書くために、文型や文法、語彙を知識として持っているか。また、日常的な話題についての英語の学習を通して、その背景にある文化・生活習慣などを理解しているか。(知識・理解)

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4月	第1週	Section14 学校	学校生活の場面での表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈場面〉スピーチ・家庭 〈機能表現〉喜ぶ・相づち ◆ センター試験対策 * 目標実現のための計画を立て、努力できる。
	第2週	Scene1 クラブ活動		
	第3週	Scene2 学園祭		
5月	第4週	Section15 ファッション	ファッションの話題の場面での表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈場面〉家庭・日記 〈機能表現〉残念・期待 ◆ センター試験対策
	第5週	Scene1 美容院 Scene2 衣服		
6月	第6週	Section16 観光	観光での表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈場面〉みやげ物店・日記 〈機能表現〉感謝・引用 ◆ センター試験対策
	第7週	Scene1 おみやげ Scene2 飛鳥巡り		
	第8週	Section17 時事問題	時事問題を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈場面〉新聞社説・スピーチ 〈機能表現〉例示・注意を喚起 ◆ センター試験対策
	第9週	Scene1 情報世界 Scene2 環境問題		
7月	第10週	Section18 ホームページ	ホームページでの表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈場面〉ホームページ 〈機能表現〉結論・判断 ◆ センター試験対策
	第11週	Scene1 祭り Scene2 カフェテリア		
	第12週	Section19 手紙		
		Scene1 試験 Scene2 進路	手紙での表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈場面〉手紙 〈機能表現〉願望・助言 ◆ センター試験対策
前期考査 7/7～7/10			試験範囲 (教科書・副教材)	
9月	第13週	Section20 数量の表し方	数量の表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈機能表現〉質問・比較 ◆ センター試験対策
	第14週	Section21 否定の表し方		
10月	第15週	Section22 原因・理由の表し方	原因・理由の表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈機能表現〉賛成・反対 ◆ センター試験対策
	第16週			
	第17週	Section23 目的・結果の表し方	目的・結果の表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈機能表現〉理由 ◆ センター試験対策
	第18週			
11月	第19週	Section24 譲歩の表し方	譲歩の表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈機能表現〉賛成・反対 ◆ センター試験対策
	第20週			
12月	第21週	Section 25 強調の表し方	強調の表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈機能表現〉賛成・反対 ◆ センター試験対策
	第22週			
1月	第23週	Section 26 勧誘の表し方	勧誘の表現を用い、文法事項の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈機能表現〉誘う ◆ センター試験対策
	第24週			
		第25週		
		第26週		
		第27週		
		第28週		
		第29週		
		第30週		
後期考査 1/27～2/2			試験範囲 (教科書・副教材)	

科目名	外国語科 科目：オーラルコミュニケーション I	使用教材	教科書 SELECT Oral Communication I New edition 副教材 VALUE1400
-----	----------------------------	------	--

単位数	ベーシックコース 3年次：2単位	評価方法	定期考査、授業態度 提出物（課題、ノート）
-----	---------------------	------	--------------------------

学習到達目標

日常的な話題の英語を聞いて、その内容を理解し、場面や目的に応じて適切に反応して、自分の考えを相手に伝えることができる。また、関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができる。

外国の人々の生活文化や習慣など異文化を理解し認めようとする姿勢を持ち、英語を話したり異文化について知ることを楽しむことを理解することを目指す。

授業について

教科書に載っている英文のディクテーションやシャドーイングなどを行い、体を使って英語を学習していきます。また知っている英単語数が受験の結果に大きく影響してきます。そのため毎週決まった数英単語を覚えてきてもらい、小テストを授業で行ないます。

自主学习について

◎予習：学習予定の英文を読んで、分からない単語や表現があれば調べておきましょう。また、小テストの範囲の英単語を覚えておきましょう。

◎復習：小テストで間違えた単語をノートに書き出し、覚えなおしましょう。

評価について

☆評価の対象

- ①定期考査 ②授業への取り組み方 ③提出物（ノート、ワーク、プリント）

☆評価の観点

	①関心・意欲・態度	②表現の能力	③理解の能力	④知識・理解
観点	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的会話表現で話すことができる。	日常的な会話表現を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	日常的な会話表現の運用についての知識を身に付ける。
規準	(ア) 言語活動への積極的な取り組み (イ) コミュニケーションを継続する努力	(ア) 正確な対話・発話 (イ) 適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ、速さ）	(ア) 正確な聞き取り・対話 (イ) 適切さ（場面や状況、目的に応じた聞き取り）	(ア) 言語についての知識（リズム・イントネーション。場面にふさわしい表現）

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	第1週 第2週	Lesson1 New Friends	<ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介ができるようになる。 興味のある物をいう。 未来表現, 不定詞(名詞的用法)を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●不定詞とは *自分の長所、短所を考え、それをみんなに知ってもらう。
	第3週 第4週	Lesson2 Free Time	<ul style="list-style-type: none"> 余暇について話すことができるようになる。 現在形と過去形の違いを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●時制について ◆長期休暇の過ごし方を考える。
	第5週 第6週	Lesson3 Are you OK?	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体調について話すことができるようになる。 体調を表す表現, 体調が悪い人へのアドバイスの表現を知る。 助動詞 should の意味, 使い方を理解し, これを使って表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●助動詞について
6	第7週 第8週	Lesson4 Our School	<ul style="list-style-type: none"> 自分の学校を紹介することができるようになる。 There is/are 構文を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●特別な第1文型 *自分の学校を見つめなおし, 良さを知る。
	第9週 第10週 第11週	Lesson5 Weather	<ul style="list-style-type: none"> 現在の天気, 明日の天気予報, そしてある地域と季節での気候を言うことができるようになる。 助動詞 will の意味, 使い方を理解し, これを使って表現できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●助動詞について ●天気の表現
	第12週 第13週	前期考査	<ul style="list-style-type: none"> 前期の総復習 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習到達度の中間確認
9	第14週 第15週	Lesson6 TV Programs	<ul style="list-style-type: none"> テレビ番組を通して好きなものについての尋ね方や答え方を知り, 表現できるようになる。 動名詞を理解する。 How many~? What kind of~? など, 数や種類を尋ねる表現を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●疑問詞を使った疑問文
	第16週 第17週	Lesson7 Talking on a Cell Phone	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話特有の表現を使って, 都合を尋ねたり, 待ち合わせをしたりできるようになる。 現在完了形の完了の用法の形, 意味を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●完了形 ◆携帯の使用について考える。
10	第18週 第19週	Lesson8 Telling the Way	<ul style="list-style-type: none"> 道案内を英語でできるようになる。 道案内で用いる命令文を理解する。 Could you~?などの丁寧な尋ね方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●道案内の表現 *街で困っている外国人への対応を考える
11	第20週 第21週	Lesson9 Kyoto	<ul style="list-style-type: none"> 乗り物で目的地までの行き方を尋ねることができる。 How many~? How long~? を用いた数や距離を尋ねる表現を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●目的地への行き方の表現
	第22週 第23週	Lesson10 Shopping	<ul style="list-style-type: none"> 買い物の場面での尋ね方, 答え方を, 実際に「セーターを買ってみる」という例において学び, 表現できるようになる。 May I help you? Show me another one, please?などの買い物の慣用表現を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●店の中で使う表現
12	第24週 第25週	Lesson11 Restaurant	<ul style="list-style-type: none"> レストランで好きな料理, 飲み物を尋ね, 答える会話をできるようになる。 Would you~?という丁寧な尋ね方を理解し, 使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常会話の慣用表現
	第26週 第27週 第28週	Lesson13 Future Jobs	<ul style="list-style-type: none"> 高校生として今, なりたい職業やその理由を英語で表現できるようになる。 疑問詞 What, Why を用いての尋ね方を理解する。 不定詞の副詞的用法の意味を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●不定詞について *卒業後の自分の姿を考える。
1	第29週 第30週	後期考査	<ul style="list-style-type: none"> 後期の総復習 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習到達度の最終確認

科目名	英語科 科目：英語Ⅱ	使用教材	教科書 LovEng. English Course Ⅱ (英Ⅱ052) 副教材 現代を見る(スーパー進学コース) 現代を読む(スーパー進学コース) 現代を探る(スーパー進学コース) 補助プリント
単位数	ベーシックコース 3年 1単位	評価方法	a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査

学習到達目標

日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

具体的な言語活動は以下の通り。

- ア. 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- イ. 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
- ウ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。
- エ. 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書く。

★授業について

授業では教科書だけでなく、様々な話題・論点をもつ補助教材を用いて英語の表現・論法に迫ります。読んで訳すだけの授業ではありませんので、単語や文法事項だけにとらわれないようにしましょう。

★自主学習について

- ◎予習 各教材のわからない単語を辞書で品詞や文型を考えながら調べ、訳せる文と訳せない文を明確にして授業に臨みましょう。
- ◎復習 授業で学んだ単語や文法事項はもちろん、異文化間のコミュニケーションに役立つ英語の表現・論法を定着させましょう

評価のについて

☆評価の対象

- ①定期考査
- ②授業への取り組み方
- ③提出物（ノート、ワーク、プリント）

☆評価の観点

	①関心・意欲・態度	②表現の能力	③理解の能力	④知識・理解
観点	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解する。	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。
規準	(ア) 言語活動への積極的な取り組み (イ) コミュニケーションを継続する努力	(ア) 正確さ（リズム・イントネーション・文法。情報の内容） (イ) 適切さ（場面や状況に応じた表現。声の大きさ、速さ）	(ア) 正確さ（リズム・イントネーション・文法などの知識を利用した理解） (イ) 適切さ（場面や状況、目的に応じた聞き取り、読み取り）	(ア) 言語についての知識（リズム・イントネーション・文法。言語の働き。場面にふさわしい表現） (イ) 文化についての理解（円滑なコミュニケーションに必要なとされる文化についての理解）

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 ＊心の成長

月	週・時	単 元	目 標	学習の要点
4月	第1週	Lesson 6 We Must. We Can. We Will.	・スーパーマンとして有名なクリストファー・リーブに何が起こったのかを知る。 ・生きる希望を失ったクリストファー・リーブを救った妻ダイナとの愛について知る。	◆ストーリー展開を追う
	第2週			
5月	第3週	Lesson 7 More Than Words	・クリストファー・リーブを救ったもう一人の人物、息子ウィルのエピソードについて知る。 ・クリストファー・リーブを支えた家族愛、彼が残した言葉について考える。 ・人に与える印象は言葉以外のボディランゲージや声の調子に左右されることが多いことを知る。 ・同じ言葉でも声の調子が違うと意味する内容が変わってくることを理解する。 ・就職のための面接で、どのような態度を取ればよいかについて理解する。	●It is said that ~ ●感情の原因を表すthat節 ●付帯状況
	第4週			
	第5週			
6月	第6週	あ・ら・かると6 ジェスチャーいろいろ	・各国で用いられるジェスチャーを知り、日本のものとの違いを理解する。	＊異文化間での非言語コミュニケーションツールを知る
	第7週			
7月	第8週	Lesson 8 Child Labor	・世界の児童労働の現状について知る。 ・子どもが働かなければならない理由と、児童労働の問題点について理解する。 ・多くの国や団体がとっている対策について知り、自分たちで何ができるかについて考える。	●疑問詞+do you think ~? ●助動詞+have+過去分詞 ●前置詞+関係代名詞
	第9週			
	第10週			
	第11週			
	第12週			
前期考査7/7~7/10			試験範囲（教科書・副教材）	
9月	第13週	あ・ら・かると7 児童労働についてもっと知ろう	・Child LaborとChild Workの違い、世界の児童労働者数について知る。	＊世界の現状について英語で学ぶ。
	第14週			
	第15週			
10月	第16週	Lesson 9 Anime and Manga	・アニメの人気の秘密を、アメリカのアニメーションとの比較によって知る。 ・マンガと西洋のコミックとの違いについて知る。 ・「まんが甲子園」という大会があること、大学にもマンガ科が設置されていることから、日本のアニメ・マンガが一つの「文化」として認められつつあることを知る。	●完了形の不定詞 ●代動詞 ●倒置
	第17週			
	第18週			
	第19週			
	第20週			
11月	第21週	あ・ら・かると8 マンガのオチを考えよう	・与えられたマンガのコンテキストに合うオチを考える。	◆近年、入試頻出のビジュアル問題になれる
	第22週	Lesson 10 Is There a Santa Claus?	・「サンタクロースって本当にいるんですか？」と尋ねた少女に対する、ある新聞記者の返事の内容を読み、人間の存在、愛や美しさ、詩情、ロマンス、純真さなどについて、考えを深める。	＊ストーリー展開を追う ●各種表現を復習する
第23週				
第24週				
12月	第25週	入試実践演習	・就職試験 ・各種専門学校入試 ・大学入試センター試験 ・私立大学入試 ・国公立二次試験	●既修事項を確認しながら入試問題に取り組む
	第26週			
	第27週			
	第28週			
	第29週			
1月	第30週			
後期考査1/27~2/2			試験範囲（教科書・副教材）	

科目名	<h1 style="text-align: center;">外国語</h1> <p>科目：英語 Reading</p>	使用教材	教科書 WORLD TREK English Reading (桐原書店) ※ 英和辞典 ※ ノート
単位数	ベーシック 総合進学コース 3年次 [1単位] [前期]	評価方法	1. 定期考査 ①前/後期考査 ②中間評価考査 ③各単元確認テスト 2. 授業態度や取り組みの姿勢 3. 提出物（ノート・確認プリント・課題レポート等）
<h3>学習到達目標</h3> <ol style="list-style-type: none"> 英語を読んで、情報や書き手の意向(言語や文化に関する内容)などを理解する能力を身につける。 1の能力を活用して積極的で主体的な読む活動を高める。 読む活動を深め、他のコミュニケーション活動に利用する態度を育てる。 			
<h3>★授業について</h3> <p>基本的には教科書の英文を中心とした「読む」活動を展開していきますが、実際的な言葉を使用すれば、「内容を読み取る」能力を身につけて欲しいため、当然、英単語力・熟語力・文法内容の理解も必要不可欠なものとなります。いわば Reading は英語の最終評価となる科目とも言えます。したがって、難易度のことも考慮した上で、教科書外の教材、たとえば、新聞、オリジナル英文等を使用した授業展開も行います。</p> <p>また、英語(英文)読解から人間として生き方や社会問題、人権問題、異文化を通しての日本人の歴史的な習慣や風土的な内容を探ったりする時間としても大切な役割を果たすこととなります。</p> <h3>★自主学習について</h3> <p>◎予習 まずは英語辞書を使って次時間で習う範囲の英単語調べは必須となります。また、それぞれの Lesson には、英文理解のための文法的事項もでてきますので、参考書や辞書を使って事前準備(前時間に指示します。)も必要になってきます。</p> <p>◎復習 ・各時間に習った部分(英文)の内容を理解しながら3回通りは発音しながら英文を読む。 ・大切な英単語・熟語については覚えようと意識する。(小テストもあります。) ・文法事項については復習用の宿題プリントも出ますので、参考書等を利用して応用がきくように理解しましょう。</p>			
<h3>学習評価方法</h3> <ol style="list-style-type: none"> 定期考査(前期・後期)、中間評価考査、各単元ごとの確認テスト(英単語・熟語・文法事項) 授業への意欲や授業中の態度 英語が解らなくても、解ろうとする気持ちやあきらめによる意欲の低下については、生活のすべてに繋がるものです。 課題や提出物等 日頃のノートの整理意識の問題やまとめ方、また提出期限厳守に関するモチベーションは大事です。 			

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4	1～ 6週	Lesson 12 Alfred Nobel	・伝記による説明文を読み ノーベル賞とその創設者について知り、平和について理解する。	●時間軸の把握、予定を伝える ◆情報を付加する文 *真の平和とは何かを考える。
5				
6	7～ 11週	Lesson 13 Oxygen	・化学による説明文を読み 英語で書かれた理科の教材に親しみ、酸素の働きを理解し再認識する。	●因果関係を軸とした内容把握 ◆過去の推量文 *自然科学の基本を考える。
7				
8	12～			
9	17週	Lesson 14 The Open Window	・ミステリーなる物語文を読み 転地療養中の男と応対する少女と叔母との対話が織り成す謎を解決する。	●物語文の展開の整理 ◆理由、期待を示す文 ◆読解の本質について考える。
		※ 就職・進学試験に関する内容も扱います。		

科目名	<p style="text-align: center;">外国語 科</p> <p style="text-align: center;">科目：Writing</p>	使用教材	<p>教科書 POWWOW English Writing</p> <p>副教材 Next Stage(桐原書店) 現代を探る(桐原書店) センター対策問題集</p>
単位数	<p>3年次：1単位必修</p> <p>総合進学コース（後期）</p>	評価方法	<p>定期考査・小テスト</p> <p>授業への取り組みの様子</p> <p>提出物（課題・プリント・ノートなど）</p>

学習到達目標

- ◆情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。
- ◆聞いたり読んだりした内容について、場面や目的に応じて概要や要点を書くことができる。
- ◆聞いたり読んだりした内容について、自分の考えなどを整理して書くことができる。
- ◆自分が伝えようとする内容を整理して、場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書くことができる。
- ◆大学入試に必要な作文力、表現力を身につける。

★授業について

授業では、日常生活の様々な場면을題材を取り上げ、情報や考えなどを場面や目的に応じて英語で表現できる実践的コミュニケーション能力を伸ばすため、作文や発言の機会を設けます。積極的に参加しましょう。また、副教材を用いて大学入試に必要な実践力を身につけます。

★自主学習について

◆確かな学力を身に付けるためのアドバイス

「暗記」は古い学習法だと思いませんか。いいえ、暗記は「ライティング」の学習にとって、確かな学力を身に付けるために絶対に必要です。文法や構文を理解し、語彙を増やし、多くの例文を頭に入れておくことが大切です。暗記をする際には暗唱(声に出して)すると一層記憶に残りやすいです。

良い英文を書くことができるようになるためには、大量の良い英文を読むことです。読んでいるときに気に入った表現が出てきたら、それをノートなどに書きためておくとよいでしょう。いつか使う機会があるはずです。

日本語と英語の文章の展開法は違うところがあります。パラグラフ・ライティングの概念を理解し、同じテーマを何回か書き直しをして、よりよい文章を書けるように努力してください。英語の先生に英文のチェックをお願いすると一層上達します。

◆予習

次の時間に学習する範囲の教科書・問題集のページを読んでおきましょう。分からない語句は辞書で調べておきましょう。

◆復習

実践的コミュニケーションに必要な英語力の習得には反復が不可欠です。習ったことはその日のうちに何度も練習し、覚えましょう。

評価について

◆評価対象：①定期考査の成績

②授業時における姿勢・態度

③ノート・ワーク・宿題の提出の有無・記入内容の結果

◆評価の観点：①コミュニケーションに関心をもち、英語を書く活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているか。その

際に、より豊かな内容やより適切な形式で書けるように、書く過程も重視しているか。(関心・意欲・態度)

②聞いたり読んだりした内容について、自分の考えを整理して書くことができるか。また自分が伝えようとする内容を整理して、相手に理解されるように書くことができるか。(表現・技能)

③英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解することができるか。また文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように音読できるか。(理解)

④情報や考えを伝える適切な英文を書くために、文型や文法、語彙を知識として持っているか。また、日常的な話題についての英語の学習を通して、その背景にある文化・生活習慣などを理解しているか。(知識・理解)

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 *心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
10月	第1週	Section20 数量の表し方	数量の表現を用い、文法事項の復習をする。	● 〈機能表現〉 質問・比較 ◆ センター試験対策 * 目標達成のため、努力できる。
	第2週			
	第3週			
11月	第4週	Section21 否定の表し方	否定の表現を用い、文法事項の復習をする。	● 〈機能表現〉 賛成・反対 ◆ センター試験対策
	第5週			
	第6週			
12月	第7週	Section22 原因・理由の表し方	原因・理由の表現を用い、文法事項の復習をする。	● 〈機能表現〉 理由 ◆ センター試験対策
	第8週			
	第9週			
1月	第10週	Section23 目的・結果の表し方	目的・結果の表現を用い、文法事項の復習をする。	● 〈機能表現〉 賛成・反対 ◆ センター試験対策
	第11週			
	第12週			
2月	第13週	Section 24 譲歩の表し方	譲歩の表現を用い、文法事項の復習をする。	● 〈機能表現〉 賛成・反対 ◆ センター試験対策
	第14週			
	第15週			
2月	第16週	Section 25 強調の表し方	強調の表現を用い、文法事項の復習をする。	● 〈機能表現〉 賛成・反対 ◆ センター試験対策
	第17週			
	第18週			
後期考査 1/27～2/2			試験範囲 (教科書・副教材)	

科目名	<p style="text-align: center;">外国語 科</p> <p style="text-align: center;">科目：Listening</p>	使用教材	<p>教材 Listening Pilot Level 2</p> <p>副教材 プリント</p>
単位数	3年次：2単位自由選択 ベーシックコース（前期）	評価方法	<p>授業への取り組みの様子</p> <p>リスニング・ディクテーション・シャドーイングなど</p> <p>提出物</p>

学習到達目標

- ◆外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や相手の意向などを理解したり自分の考えなどを表現したりする実践的コミュニケーション能力を養う。
- ◆センター試験のリスニングに対応できる力を養う。

★授業について

授業では、日常生活の様々な場면을題材を取り上げ、情報や考えなどを場面や目的に応じて英語で表現できる実践的コミュニケーション能力を伸ばすため、リスニングやディクテーションやシャドーイングなどの活動を行います。英語を聞いてその内容を理解するとともに、リズムやイントネーションなど英語の音声的な特徴にも注意し、自然な英語を身につけましょう。

センター試験や英検のリスニングにも対応できるように、聞き取りのテクニックなども指導します。

授業は実技(リスニング)が中心となりますので、授業への取り組みを評価します。

★自主学習について

◆確かな学力を身に付けるためのアドバイス

耳で聞いているだけで突然理解できるようになる、というのは真っ赤な嘘です。知らない単語は10回聞き返しても聞けるようにはなりません。リスニングの力をつけるには、ある程度語彙がなければ始まりません。読んで分からない単語が、聞いてわかるということは、まずありえません。聞きとれるようになりたいと思ったら、まず読んで分かる単語の数をふやすことです。

次に、聞き方ですが、流し聞きしているだけでは、あまり効果はありません。ただ聞くだけではなく、自らアウトプットすることでリスニング力は飛躍的にアップします。徹底的に音読・シャドーイング・ディクテーションなどを繰り返すことが大切です。

◆復習

実践的コミュニケーションに必要な英語力の習得には反復が不可欠です。習ったことはその日のうちに何度も練習し、覚えましょう。

評価について

- ◆評価対象：①授業時における姿勢・態度
②リスニング・ディクテーション・シャドーイングなど
③ノート・ワーク・宿題の提出の有無・記入内容の結果
- ◆評価の観点：①テキストを通じて、言語や文化に対する理解を深め、英語を聞いたり、話したりして積極的に言語活動を行い、英語でコミュニケーションを図ることができる。(関心・意欲・態度)
②聞きとった内容について、自分の考えを整理して発表したり、書くことができる。(表現の能力)
③聞き取った内容について、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解することができる。(理解の能力)
④言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化・生活習慣などを理解しているか。(知識・理解)

学習の計画

●要点 ◆学習習慣・学びの発展 ＊心の成長

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4月	第1週	Lesson1 名古屋からの便り	ビデオレターを聞き取る	● ビデオレターを聞き取る ◆ センター試験対策
		Lesson2 皆様にお知らせします	アナウンスを聞き取る	* 目標実現のための計画を立て、努力できる。 ● アナウンスを聞き取る ◆ センター試験対策
		Lesson3 ロンドン橋の歴史	説明文を聞き取る	● 説明文を聞き取る ◆ センター試験対策
5月	第2週	Lesson4 お世話になりました	ビデオレターを聞き取る	● ビデオレターを聞き取る ◆ センター試験対策
		聞き取りのテクニック	聞き取りにくい音	● 音のイメージを変える ◆ センター試験対策
		Lesson5 動物が大好き	対話の流れを聞き取る	● 対話の流れを聞き取る ◆ センター試験対策
6月	第3週	Lesson6 コンサートに行かない?	対話の流れを聞き取る	● 対話の流れを聞き取る ◆ センター試験対策
		Lesson7 おじいさん、日本に行く	ストーリーの流れを聞き取る	● ストーリーの流れを聞き取る ◆ センター試験対策
		Lesson8 イヌを探して	ストーリーの流れを聞き取る	● ストーリーの流れを聞き取る ◆ センター試験対策
7月	第4週	聞き取りのテクニック	聞き取りにくい音	● 意味を考えてみよう ◆ センター試験対策
		Lesson9 プレゼントはどこにある?	位置の説明を聞き取る	● 位置の説明を聞き取る ◆ センター試験対策
		Lesson10 予定変更	アナウンスを聞き取る	● アナウンスを聞き取る ◆ センター試験対策
8月	第5週	Lesson11 一番行きたい国	スピーチを聞き取る	● スピーチを聞き取る ◆ センター試験対策
		Lesson12 私の住む町	街の紹介を聞き取る	● 街の紹介を聞き取る ◆ センター試験対策
		聞き取りのテクニック	音のつながり	● 前にくっつけてみよう ◆ センター試験対策
9月	第6週	Lesson13 春休みが来たぞ!	予定を聞き取る	● 予定を聞き取る ◆ センター試験対策
		Lesson14 こちらフラミンゴ動物園	電話案内を聞き取る	● 電話案内を聞き取る ◆ センター試験対策
		Lesson15 カップケーキ食べる?	対話の詳細を聞き取る	● 対話の詳細を聞き取る ◆ センター試験対策
10月	第7週	Lesson16 車、それとも飛行機?	対話の詳細を聞き取る	● 対話の詳細を聞き取る ◆ センター試験対策
		聞き取りのテクニック	音のつながり	● 語数を数えてみよう ◆ センター試験対策
		Lesson17 電話でオーダー	電話での対話を聞き取る	● 電話での対話を聞き取る ◆ センター試験対策
11月	第8週	Lesson18 プレゼントには…	電話での対話を聞き取る	● 電話での対話を聞き取る ◆ センター試験対策
		前期考査 7/7～7/10	試験範囲(教科書・副教材)	
		9月	第12週 Lesson19 ギャラリーはどこですか?	道順を聞き取る
12月	第13週 Lesson20 フローレンス・ナイチンゲール	伝記を聞き取る	● 伝記を聞き取る ◆ センター試験対策	
		聞き取りのテクニック	リスニングへの取り組み方	● 語数を数えてみよう ◆ センター試験対策